

<p><研究課題名></p>	
<p>子宮頸癌・子宮体癌局所再発に対する組織内照射の初回治療法別の成績に関する後方視的観察研究</p>	
研究責任者名	筑波大学 医学医療系 教授 櫻井英幸
研究期間	研究機関の長による研究実施許可後 ～ 2026年3月31日
試料・情報の利用及び提供を開始する予定日	<p>利用開始予定日：2023年11月1日</p> <p>提供開始予定日：該当なし</p>
対象者	<p>2010年3月から2022年12月の間に、筑波大学附属病院放射線腫瘍科で再発子宮頸癌・子宮体癌に対して組織内照射を受けられた患者さん。</p>
意義・目的	<p>子宮頸癌・子宮体癌の初回治療後の再発率は珍しくなく、実臨床で再治療が必要となる場合が多くあります。子宮頸癌・子宮体癌の局所再発に対する治療方法は再発部位や放射線治療歴の有無によって規定されており、特に放射線治療歴のある患者さんでは再照射が第一選択とはされません。しかし、小線源治療の一つである組織内照射は局所の線量を高めつつ、正常臓器への線量を抑えることができる技術であり、放射線治療歴のある子宮頸癌再発症例に対しても比較的予後良好な報告があり、有効性が示唆されています。本研究において、過去に当院で行われた再発子宮頸癌・子宮体癌に対する組織内照射の症例を遡及的に解析し、治療効果および安全性を検証したいと思えます。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 患者基本情報：年齢、性別、performance status (PS)、併存疾患、重複癌、癌既往歴、初回診断時FIGO(2008) Stage、UICC分類、病理学的診断 ② 前治療：前治療の内容、放射線治療歴の有無、前回治療時の併用化学療法の有無、GTV(Gross tumor volume)、HR-CTV(High risk Clinical target volume)D90/D100、直腸線量、膀胱線量、小腸線量、結腸線量 ③ 再発病変：再発部位、周囲臓器進展、外照射開始日、組織内開始 ④ 本治療：前回放射線治療との重なりの有無、前回治療から再治療までの期間、併用外照射総線量(Gy)、併用外照射回数、中央遮蔽開始時線量、治療総線量(Gy)、治療回数、使用組織針の種類と本数、併用化学療法の有無と内容、予防的Stoma・スパーサー留置の有無 ⑤ 治療計画および照射情報：治療開始日、治療終了日、腫瘍径、腫瘍部位・個数、照射技法、治療計画装置、計算アルゴリズム、小線源治療装置 ⑥ 照射線量に関する情報：総線量、一回線量、照射回数、評価点、GTV(Gross tumor volume)、HR-CTV(High risk Clinical target volume)D90/D100、直腸線量、膀胱線量、小腸線量、結腸線量 ⑦ 治療後の転帰：最終フォローアップ日、生死、死因、再発の有無、再発形式、再発日、局所再

発の有無、局所再発日、遠隔再発の有無、遠隔再発日、周術期合併症、急性期・晩期有害事象
(個人を特定可能な情報は解析に用いません)

試料・情報の管理責任者

筑波大学 医学医療系 教授 櫻井 英幸

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

TEL： 029-853-7100, FAX： 029-853-7100

筑波大学 医学医療系 教授 櫻井 英幸

研究機関：筑波大学